

第13回相模湾ヨットフェスティバルレース (SYF2010)

帆 走 指 示 書

2010年 8月26日

主催:(財)日本セーリング連盟 加盟団体 JSAF 外洋三崎

運営:第13回相模湾ヨットフェスティバル 2010 実行委員会

後援:三浦市

1. 責任の所在

艇と乗員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇が十分に艤装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り込ませるように全力を尽くさなければならない。オーナーは船体、スパー、リギン、セール及び全ての備品を確実に整備し、又特別規定備品が適正に維持格納され、それらの使用法と置き場所を全ての乗員に熟知させておかなければならない。各レースにおいて主催、主管、運営、協力に関する団体個人等はレース参加艇の乗員及び船体の安全について、なんら責任を負うものではない。レース艇がスタートするか否か、又レースを続行するか否かは、全て各艇の責任のみで決定される。

レース委員会は不相当と認めた艇、及び艇長または乗員の参加を拒否することが出来る。

2. 適用規則

2-1 第 13 回相模湾ヨットフェスティバルレース レース公示

2-2 第 13 回相模湾ヨットフェスティバルレース 帆走指示書

2-3 セーリング競技規則 2009-2012(RRS)

2-4 ORC Rating Systems 2010 (ORC Rule)

2-4-1 ORC Rule 201.2 を変更する。

レース中の1日当たり、かつ1人当たりの飲料物の量を適用しない。

2-4-2 ORC Rule 206.1 を変更する。

本レガッタは、艇に搭載するセール枚数の規定を適用しない。

2-5 IMS 2010(IMS Regulations を含む)

2-6 IRC 2010 ルール

2-7 J-24 クラスルール

但し、J-24 クラスルール 5 項は適用しない。

2-8 プラトークラブの登録艇とする。

2-9 上記適用規則の間に矛盾がある場合は、2-2 の帆走指示書を優先する。

〈付則〉

1. オープン部門の体重制限はないが、国内法規に従い、船検に定められた定員より多く乗員を搭乗させた艇は失格とする。
2. ライフジャケットについてはレースに使用するに耐えるものを搭乗者全員が着用してチェックインを受ける事とする。尚、レース中の着用は参加艇の判断とするが、レース委員会としては出港から帰港するまでの間の着用を強く推奨する。

3. 部門分け、部門識別リボン、レース旗及び、リコールナンバー

- 3-1 ORC 部門 : イエローのリボン
- IRC 部門 : ホワイトのリボン
- J-24 部門 : グリーンのリボン
- プラト一部門 : グリーンのリボン
- オープン部門 : ピンクのリボン

3-2 参加艇は必ず部門識別リボンとレース旗をチェックイン時からフィニッシュまたはリタイアするまでデッキより 1.5m 以上の高さになるようにバックステイに掲揚すること。

3-3 レース旗として部門識別リボンの上に以下を掲揚すること。

- ORC 部門、IRC 部門 : JSAF バージ
- J-24 部門、プラト一部門、オープン部門 : 部門識別リボンをレース旗とする

3-4 メインセールとヘッドセールおよびスピナーカーで異なったセイルナンバーを使用してはならない。

3-5 セイルナンバーのない艇は、リコールナンバーをバウパルピットの両側に掲示すること。

注 : リコールナンバーは艇長会議時に保証金 5,000 円で貸与し、保証金はレース当日のパーティー時にリコールナンバーと引き替えに返金する。

4. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は 8 月 29 日 (日) 08:00 までに公式掲示板に掲示する。08:00 以降に行なわれる帆走指示書の変更については、海面でのチェックイン時に口頭などの方法により通知することもある。

5. レースの中止

悪天候により予めレースを中止する場合の決定は 8 月 28 日 (土) 16:00 までにレース委員会が決定する。通知は公式掲示板に掲示する。参考として外洋三崎ホームページにも掲示する。

(<http://www.jsaf.or.jp/misaki/>)

6. コース

小網代沖(スタート)～①名島沖マーク～②長井沖マーク(※)～小網代沖(フィニッシュ)

※ 各マークは左に見て回航すること。

《概ねのマーク位置—参考—》

- ・ 長井沖マーク 北緯35度12分、東経139度33分 付近
 - ・ 名島沖マーク 北緯35度16分、東経139度33分 付近
- (マークの位置が違うことによる救済の要求は受けけない)

7. スタート

7-1 チェックイン(正規のチェックインをおこなわない艇はペナルティーを課す事がある。)

チェックインは、10:15までにL旗を掲揚した本部艇後方から本部艇をスターボードに見て機帆走で通過し、セールナンバー(もしくはリコールナンバー)、艇名及び乗員の数を告げる事。但し、JSAF 特別規程検査に適合した艇はナンバーフラッグ(ポータブルセイルナンバー)を代用しても良い。

適用規則の付則に記述したように搭乗者全員がライフジャケットを着用しチェックインを受ける事とする。

7-2 スタート予告信号

- ・2010年8月29日(日)
- ・ORC 部門、IRC 部門 : 10:25
- ・J-24 部門、プラト一部門、オープン部門 : 10:35

7-3 スタート信号

スタート信号は、次のa)及びb)の2段階に分けて発せられる。レースはRRS26に従ってスタートする。

a) ORC 部門、IRC 部門

ゼネラル・リコールが発せられた場合は、当該、第1代表旗降下1分後に予告信号が発せられる。(RRS29.2の変更)

ORC 部門、IRC 部門のスタート

- ・5分前/予告信号 : 部門識別旗(イエロー、ホワイト)掲揚と音響信号1声
- ・4分前/準備信号 : P旗・I旗・Z旗・黒色旗のいずれかの掲揚と音響信号1声
- ・1分前 : P旗・I旗・Z旗・黒色旗のいずれかの降下と音響信号長音1声
- ・スタート : 部門旗 降下と音響信号1声

b) J-24 部門、プラトー部門、オープン部門

レーススタートは ORC 部門、IRC 部門のスタートが終了してから行う。

尚、ゼネラル・リコールが発せられた場合には、当該、第 1 代表旗降下 1 分後に予告信号が発せられる。(RRS29.2 の変更)

J-24 部門、プラトー部門、オープン部門のスタート

- ・5分前/予告信号 : 部門識別旗(グリーン、ピンク)掲揚と音響信号1声
- ・4分前/準備信号 : P 旗・I 旗・Z 旗・黒色旗のいずれかの掲揚と音響信号1声
- ・1分前 : P 旗・I 旗・Z 旗・黒色旗のいずれかの降下と音響信号長音1声
- ・スタート : 部門旗 降下と音響信号1声

7-4 スタートライン

スタート・ラインは、スターボードの端となる本部艇(伊三郎丸)の JSAF 外洋三崎 大エンサイン旗(黄色)を掲げたポールと、ポートの端となるマーク(黄色円柱型インフレーターブルブイ)を結ぶ見通しラインとする。

7-5 当該部門のスタート信号後 10 分以内にスタートしなければならない。これ以降のスタート艇は DNS と記録される。(これは RRS・A4 を変更している)

7-6 レース中でない部門の艇は、レース中の艇を避けなければならない。また、予告信号が発せられた場合、当該部門以外の艇はスタート・ライン付近に近づいてはならない。(RRS21.1 への追加)

8. リコール

リコール艇があった場合には、本部艇に X 旗を掲揚する。(音響信号1声を伴う)

9. ゼネラルリコール

ゼネラル・リコールの場合は、第1代表旗を掲揚する。(音響信号2声を伴う)

帆走指示書7-3 b)に従って待機すること。(RRS29.2 の変更) : 同一クラスが再スタートする

10. 運営艇

本部艇は外洋三崎エンサイン、その他運営艇は外洋三崎バージを掲揚する。

本部船 伊三郎丸

運営艇 絹雲(30fモーターボート)

プリンセス(インフレーターブル)

11. コース短縮

スタート後にコースを短縮する場合は、先頭艇がまさに回航しようとするマーク付近にいる運営艇に S 旗と共に部門旗が掲揚され、音響信号2声が発せられる。この場合、当該マークと当該運営艇の JSAF 外洋三崎大エンサイン(黄色)を掲げたポールとの見通しラインをフィニッシュラインとする。

12. フィニッシュ

フィニッシュラインは本部艇の JSAF 外洋三崎大エンサイン旗(黄色)を掲揚したポールとアウトマーク(黄色円柱形インフレーターブルブイ)を結ぶ見通しラインとする。

13. 失格に代わる罰則

RRS 第 2 章以外の規則違反については、失格に代わる罰則として、所要時間に 2%以上のタイムペナルティーを課することがある。

14. タイム・リミット

8月29日(日)15:00までにフィニッシュできなかった艇は DNF と記録される。(RRS35 の変更)

15. 抗議

抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該相手艇に対して通告(赤色旗の掲揚等)すると共に、フィニッシュ時にその抗議の意思と相手艇名をフィニッシュ担当の運営艇に告げ、自艇フィニッシュ後90分以内に所定の抗議書により、レース委員会(陸上本部)に提出しなければならない。審問開始の時間、場所については公式掲示板に掲示される。

16. レースの成立

各部門のトップ艇のタイム・リミット内でのフィニッシュをもって成立するものとする。

17. 順位及び時間修正システム

17-1 ORC 部門

Time-on-Time offshore にて成績を算出する。CT で同順位の艇がある場合は Time-on-Time offshore の値が小さい艇を上位とする。

17-3 IRC部門

艇の所要時間(ET)にその艇のTCCを掛け修正時間(CT)の低い艇を上位とする。
修正時間(CT)は、秒単位迄を算出し、少数点以下を四捨五入する。
修正時間(CT)が同一の場合には、TCC の小さい方の艇を上位とする。

17-4 J-24 部門

フィニッシュの着順を以って成績とする。

17-5 プラト一部門

フィニッシュの着順を以って成績とする。

17-6 オープン部門

レース委員会の定めた、SYF 特別レーティングを使用し TCF により計算する。

艇の所要時間(ET)にその艇の TMF を掛け修正時間(CT)の低い艇を上位とする。

修正時間(CT)は、秒単位迄を算出し、少数点以下を四捨五入する。

修正時間(CT)が同一の場合には、TMF の小さい方の艇を上位とする。

18. 出艇申告、帰着申告

18-1 出艇申告は艇長会議受付時に行う。

18-2 乗員の変更はレース当日の 08:30 までに書面にてレース本部に提出の事(FAX 可)

18-3 帰着申告はフィニッシュを持って帰着申告とする。

18-4 出艇しない艇、フィニッシュしなかった艇は、必ず艇の責任者が直接レース本部に速やかに連絡すること。第三者への伝言委託をしないこと。連絡が無い場合には、レース委員会から海上保安庁に救助要請をすることがある。

19. 賞

表彰の対象は下記の成績の艇とする。

- ・ORC 部門 : ファーストホーム賞 (三浦市長杯)
総合優勝
各クラス 優勝、2位、3位
- ・IRC部門 : ファーストホーム賞 (うらり杯)
総合優勝
各クラス 優勝、2位、3位
- ・J-24 部門 : 優勝、2位、3位
- ・プラト一部門 : 優勝、2位、3位
- ・オープン部門 : ファーストホーム賞 (外洋三崎会長杯)
総合優勝
各クラス 優勝、2位、3位

20. レース本部及び公式掲示板

20-1 レース本部

所在地 : 8月28日(土) 15:00 ~ 8月29日(日) 10:00

三崎マリン2F

8月29日(日) 10:00 ~ 20:00

三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」2F研修室

連絡先 : 電話 : 090-2217-1646 8月28日(土) 15:00 ~ 22:00

8月29日(日) 07:00 ~ 20:00

FAX : 090-2658-3041

開設時間 8月28日(土) 15:00 ~ 8月29日(日) 08:30

20-2 公式掲示板

所在地 : 8月28日(土) 15:00 ~ 8月29日(日) 10:00

三崎マリン1F

8月29日(日) 10:00 ~ 20:00

三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」2F研修室前

21. その他

表彰式とパーティー

日時 : 2010年8月29日(日) 17:00 開宴 (開場16:30)

※レース中止の場合も予定通り行う。

場所 : 三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」2F うみぎょうプレイス

(三浦市三崎港)

<http://www.umigyoko.co.jp/11.html>

料金 : 当日パーティー券 1,200円

パーティー会場の駐車場について

パーティー会場となる三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」のご好意により格安(300円/台)で駐車場をご用意しました。また、運転される方の飲酒は禁止です。

国際VHF無線の使用について

船舶間の連絡手段としての有用性が見直され、免許制度、無線機に対する規制が緩和されました。今回のレースでも普及促進のため71chを聴取チャンネルに指定して、リコールの読み上げ等の連絡に活用します。船舶局免許を取得している艇はワッチ体制をとることを強く推奨いたします。なお、連絡が取れなかった場合でも救済対象にはなりません。

—以上—